

和歌山県白浜町で 2011 年に初鳴きのクマゼミと ニイニゼミ

(カメムシ目 = 半翅目, セミ科)

The earliest droning of *Cryptotympana facialis* and *Suisha coreana* (Hemiptera, Cicadidae) in 2011 at Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

南日本に広く分布するクマゼミ *Cryptotympana facialis* とニイニゼミ *Suisha coreana* (カメムシ目 = 半翅目, セミ科) は, 南紀地方では夏季に出現する普通種である。今回, 和歌山県西牟婁郡白浜町で, 2 種が同日に初鳴きした記録を報告する。

鳴き始めに遭遇したのは, クマゼミは 2011 年 6 月 30 日午前 8 時頃で, 白浜町の白良浜より少し東側の町中に入った地点で, 既に太陽は昇っていた。ニイニゼミは同日に番所山で初鳴きが 2 回聞いた。1 回目は山頂からの舗装した遊歩道を下った地点で (右手に円月島が見える), 1 個体が午前 5 時頃に鳴いており, 夜明け後しばらく時間が経過しており, あたりはすっかりしらんできた頃だった (歩くのに懐中電灯は不要)。2 回目は同じ山頂で, 16 時 40 分に 2 個体が交互に鳴いていた。この日は天気が快晴で, 連日の晴天と暑さが数日間続いた後で, まるで梅雨が終わったかのようであった。

クマゼミの今回の初鳴きの時期は, 1999 年—2002 年の 3 年間の記録 (6 月 16 日—7 月 4 日で 2000 年のデータなし: 久保田・田名瀬, 2002) の間に入る。

ニイニゼミは, 初鳴きの翌日に鳴き始めの時間を特定できた。番所山の山頂までまだまわりが暗いうちにライトをつけて登った。すこしずつまわりが明るくなる早朝, 山頂で 4 時 38 分に, 2 個体がほぼシンクロナイズして鳴き始め出した。山頂からの遊歩道の舗装部分を降りた昨日と同じ地点 (円月島が見える) で, 4 時 40 分に 1 個体が鳴いていた。4 時 43 分には熊楠館の入口で 1 個体が鳴いていた。さらに, 4 時 45 分に, 登り口まで降りた時, 2 個体が鳴いていた。まとめると, 2011 年 7 月 1 日午前 4 時 38 分から午前 4 時 45 分までに, 番所山から熊楠館登り口までの遊歩道で, 少なくとも 6 個体が鳴き始めたといえる。なお山頂の気温は 25.2℃ (4 時 35 分) だった。

引用文献

久保田 信・田名瀬英朋. 2002. 和歌山県白浜町の海岸付近におけるクマゼミの初鳴き. 南紀生物, 44(2): 114.

(くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)